

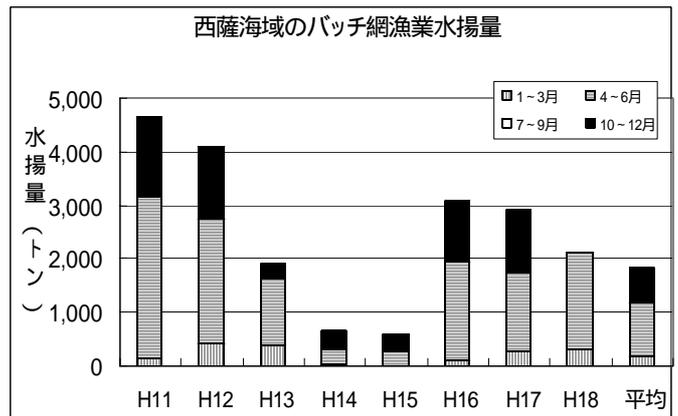
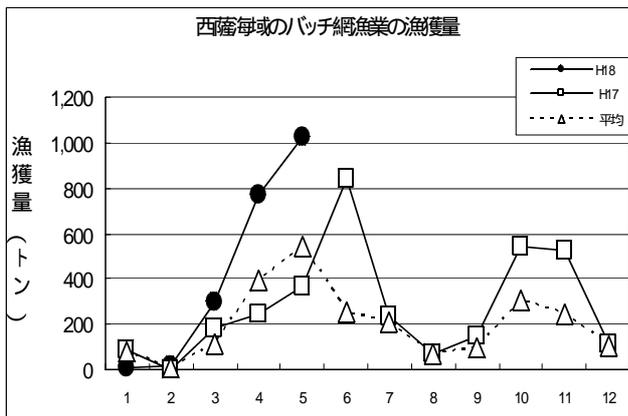
[シラス]

経年経過及び平成18年4～5月期の漁況の経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では平成11年の5,450トン进行ピークに減少傾向を示し、平成14、15年と1,000トンを下回り低調に推移しました。平成16年は3,507トン、平成17年は3,368トンと比較的好調に推移しました。

志布志湾海域では平成12年の1,407トン进行ピークに減少傾向を示し、平成14年は396トンまで減少しましたが、平成15年は842トンまで増加し、平成16年は1,180トン、平成17年は1,147トンと比較的好調に推移しました。

今期の西薩海域では、カタクチシラス主体に1795.3トンの水揚げで、前年の292%、平年の192%でした。志布志湾海域では、カタクチシラス主体に486.3トンの水揚げで、前年の110%、平



年の163%でした。

図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(4漁協計)

平年値は過去5年(平成13～17年)の平均値、平成18年5月までの水揚げ量を使用。

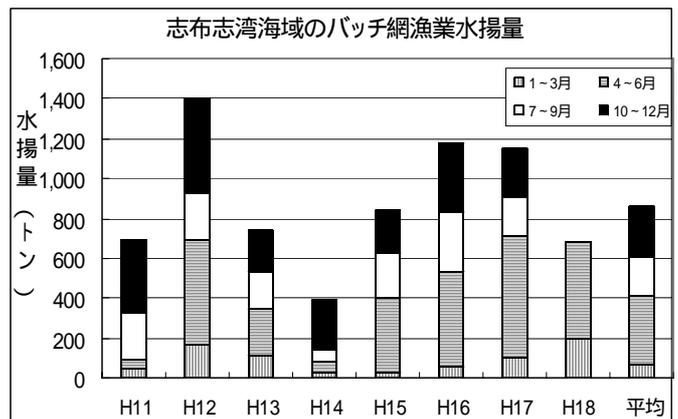
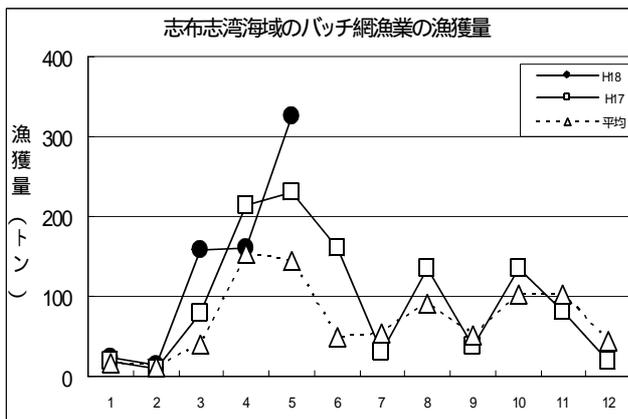


図 志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

平年値は過去5年(平成13～17年)の平均値、平成18年5月までの水揚げ量を使用。